



2022年9月9日  
株式会社 阿波銀行

株式会社野々瀬建築都市設計事務所の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社野々瀬建築都市設計事務所（代表取締役 野々瀬 響、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	株式会社野々瀬建築都市設計事務所
所在地	徳島県徳島市中徳島町二丁目 102 番地
代表者	野々瀬 響
業種	建築設計・管理業
設立	1957年3月18日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年9月9日



## 株式会社野々瀬建築都市設計事務所

代表取締役 野々瀬 響

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。発生防止にむけた取組みを通し、適切な労働時間管理を推進します。	① 方針・社内規程の見直し (サービス残業の禁止、残業代の適切な支払、法定年次有給休暇の確実な取得)	
			② 2025年までに有給休暇取得率100%	
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料を使った設計や3Rの推進に努めます。	① (1)環境負荷が低い原材料を使った設計 (リサイクル材、竹等の天然素材、植物由来のプラスチック等) (2)リサイクル材使用の推進 (紙、プラスチック、金属 例)包装材など)	
			② (1)2030年までに導入率80% (2)グリーン購入率80%	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① ハイブリッドカー・電気自動車・燃料電池車(FCV)の導入	
			② 2030年までに導入率100%	
社会	従業員のボランティア活動の促進	より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動参加をサポートします。	① (1)事務所周辺の清掃活動 (2)定期的に活動内容発信	
			② (1)週1回清掃活動の実施 (2)月1回会社HP等で活動内容掲載	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。